

天理図書館『開館九周年記念 古事記・日本書紀展覧会目録』紹介(続)

田 中 千 晶

一九三九(昭和十四)年十月十八日(三十日)に天理図書館で開催された「開館九周年記念 古事記・日本書紀展覧会」に関する周辺状況及び、展覧会の『目録』の

付した。

『古事記』関連書籍を拙稿にて紹介した。本稿では、『日本書紀』関連書籍を紹介する。拙稿及び本稿によって、『目録』掲載の『古事記』『日本書紀』関係の書籍をすべて紹介することになる。

『目録』は次のように構成されている。

甲 の 部

一、一年間主要増加書

乙 の 部

一、日本書紀の部

二、古事記の部

三、記紀の部

四、複製本の部

本稿では、甲の「一年間主要増加書」から『日本書紀』関連書籍を、乙の「日本書紀の部」すべて、同じく「複製本の部」から『日本書紀』関連書籍、及び巻末の「追加之部」から『日本書紀』関連書籍を抜粋、掲載する。

なお、参考までに、古事記学会編『古事記研究文献目録・単行書篇』(国書刊行会 一九九二年五月)に掲載されていない、明治元年以降の書籍の番号に [ ] を

\*

甲 の 部

一、一年間主要増加書

(筆者注…この項目では『日本書紀』関係の書籍のみ抜粋掲載する)

二

新刊日本書紀 神代 後陽成天皇勅版 古活字印本 慶長四年

日本書紀刊行本の嚆矢ニシテ、精確ナル字體ト剛健ナル版式ヲ有シ、後刻日本書紀ハ總テ本書ヲ底本トセリ。細筆ノ書込トヲコト點ヲ有シ、巻頭卷末ニ『神垣舎藏書』ノ印アリ。

五

日本書紀神代卷 二册 桃山時代寫本

六

稜威道別 橘守部自筆 八册(二一八) 並ニ 橘守部草稿本 神代上一册

日本書紀神代卷ヲ註釋セルモノニテ、守部ノ學ノ中心ヲナス名著ナリ。卷一、二ハ總論、卷三ヨリ八マデハ神代下ノ中途ニ互ル。右ノ八卷ハ清書サレタル精撰本ト思ハルルモ、ナホ板本ト多少ノ異同アリ。草稿本一册ハ殆ンド完成ニ近キ淨書稿本ナリ。

一一

神代紀索引 橘守部自稿本 一册 二十二枚

- 一四 神代紀ノ、主トシテ名詞ヲ書拔キ、五十音順ニ切り貼りセル索引。  
 神代卷古今顯要鈔 橋守部自筆 墨付八枚 一冊  
 一七 神代紀心覺 橋守部自筆 墨付九枚 一冊

乙の部 (同一類内ニ於テハ版本ヲ先トシ寫本ヲ  
後トス。配列ハ大凡年次順トセリ。)

一、日本書記の部

(原文)

- 一 新刊日本書紀 上下 神代 後陽成天皇勅版 古活字印本 慶長四年 一冊 (甲ノ二  
ニアリ)
- 二 日本書紀神代卷 (慶長末 木活字無刊記本) 和四六倍大判 二冊
- 三 〔神代卷 上下〕 和四六倍大判 二冊  
(寛永頃ノ版) 附訓點
- 四 神代卷 上下 寛文七年 和四六倍大判 二冊  
(奥刊記)  
 右以 勅本並累家諸書而令訂正者也」干時寛文第七丁未夏四月日」自省  
 軒某」書堂」藤井五郎衛門」墨朱書入アリ。傳度會延貞自説書入本。
- 五 〔檜垣氏藏書〕『河崎氏之藏書』  
 〔神代卷 上下〕 延寶四年 和四六倍判 二冊  
 墨書入夥シクアリ。  
(刊記)
- 六 延寶四仲秋下旬  
 校正 神代卷 上下 松下見林校正 元祿八年 和四六倍判 二冊 京都  
 評閱 出雲寺松栢堂  
(刊記)  
 元祿八歲次乙亥仲夏吉旦」西村市郎右衛門」頼源兵衛兵衛」西森六兵
- 七 衛」西村七郎兵衛  
 『書』干神代ノ紀後二」ノ跋アリ、其奥  
 元祿八年二月十六日」松下見林書」  
 訂重 神代卷 上下 元祿九年 良空校定 和四六倍大判 二冊 京都 武村  
 市兵衛藏版  
(刊記)  
 二條通松屋町」書肆武村市兵衛藏版」  
 『書』干神代ノ記ノ後二」ノ跋ノ奥  
 元祿九歲次丙子孟春中浣 隱士 五天散人良空 謹誌  
〔別所友愛〕ノ印  
 神代卷 上下 寛永四年(元版) 寛政元年(校正) 和四六倍判 二冊  
 東京 和泉屋庄次郎  
〔藤岡〕印  
 日本書紀神代卷 乾坤 享保三年 和三五判 二冊 京都 梅村市郎兵衛  
 神代卷 上下 和四六倍大判 二冊  
(奥跋刊記)  
 享保十四年己酉臘月日 從二位清原朝臣宣通書  
〔御本山正點〕印  
 神代卷 上下 和四六倍判 二冊  
 墨書入アリ。  
 下卷末二『文化元年五月廿日京師上田百樹本以テ書入レヲヘヌ 殿邑常  
 久』  
(跋刊記)  
 享保十四年己酉臘月日 從二位清原朝臣宣通書  
〔篁園文庫〕印  
 神代卷 上下 明治三年 和四六倍判 二冊 東京 稻田佐兵衛等  
 墨朱書入アリ。享保十四年清原宣通ノ刊語アルモノ、後刷。  
 神代卷 上下 梨木改正本 和菊倍判 二冊 石原藏版

- 一四 神代卷 上下 御靈社版 和四六倍判 二冊 京都 錢屋惣四郎
- 一五 日本紀神代卷 和四六倍判 二卷一冊 大阪 青木恒三郎
- 一六 日本紀神代卷 上下 和四六倍判 二冊 大阪 櫻園書院  
前記、青木恒三郎板二同ジ。
- 一七 神代卷 上下 (神祇要編ノ内) 和四六倍判 二冊
- 一八 日本書紀神代卷 二冊 桃山時代初期寫(甲ノ五ニアリ)
- 一九 日本書卷神代卷 和菊判 一冊  
明治二、三十年頃ノ活版本ナリ。
- 二〇 正神代卷 上下 中山繁樹訓點 明治六年二版 和四六判 二冊 京都  
出雲寺文治郎等
- 二一 日本紀神代卷 上下 (三部本紀卷三、四) 松岡調編 明治十七年 折四六  
倍判 二冊 愛媛縣 新居政七
- 二二 日本書紀神代卷 大正四年 四六判 一冊 松江 島根縣皇典講究分所
- 二三 日本書紀 木活字本 和四六倍大判 三十卷十五冊  
(奥刊記)  
慶長十五庚戌仲夏念八「洛酒野子三白誌」  
但、神代卷二卷ハ寛文七年整版ナリ。  
(奥刊記)
- 二四 寛文丁未仲秋下浣 新刊  
『中野文庫』印、朱書入
- 二五 日本書紀 和菊倍判 三十卷十五冊  
(寛永頃ノ版) 訓點入り。
- 二六 日本書紀 和四六倍大判 三十卷十冊  
(寛永頃ノ版) 朱書入アリ。  
『日野〇家藏書』印
- 二七 日本書紀 寛文九年 和四六倍大判 三十卷十五冊 武村市兵衛等  
『吉松圖書』印
- 二八 日本書紀 寛文九年 和四六倍大判 三十卷十五冊 武村市兵衛等
- 二九 朱書入アリ。  
第三十卷未<sub>レ</sub>ニ  
『日本紀誤謬不<sub>レ</sub>』少今遂ニ改正之且<sub>レ</sub>以<sub>レ</sub>三山崎垂加翁木鴨祐之縣主等之後  
述旨ニ冠註傍考猶重可<sub>レ</sub>三精解ニ而已 藤 包福『花押』ノ朱書アリ。『滋  
岡庫』印
- 三〇 日本書紀 寛文九年 和四六倍大判 三十卷十五冊  
(刊記)  
京寺町通御池入ル町 芳野屋徳兵衛板 洛陽書林  
上欄外ニ墨書註記入アリ。
- 三一 正日本書紀 小寺清先校正 享和三年二版 和四六倍判 三十卷十五冊  
東京 須原屋茂兵衛等  
寛政六年元版 享和三年第二版
- 三二 日本書紀 和菊大判 三十卷十五冊 東京 須原屋茂兵衛等  
寛政六年版後刷
- 三三 正校日本書紀 小寺清先校正 和四六倍判 三十卷十五冊 東京 須原屋茂  
兵衛等  
(序刊記)  
寛政五年歲次癸丑正月「吉備笠阜 小寺清先謹撰  
寛政六年版後刷
- 三四 日本書紀 再刻 文政十三年 和四六倍判 三十卷十五冊 東京 須原屋  
茂兵衛等
- 三五 日本書紀 再刻 和四六倍判 三十卷十五冊 東京 須原屋茂兵衛等  
文政十三年版後刷
- 三六 日本書紀 再刻 明治二年 和四六倍判 三十卷十五冊 東京 山城屋佐  
兵衛等  
文政十三年版後刷
- 三七 日本書紀 附日本書紀文字備考 大關増業編 文政五年 和菊判 三十二  
卷十六冊 京都 風月莊右衛門等

- (文字備考序)  
(錯亂備考序)  
文政壬午暮春月黒羽主人 大關増業識
- 三六 日本書紀 薄葉本 元治元年 和四六倍大判 三十卷六册 京都 吉野屋 仁兵衛等
- 三七 日本書紀 卷一至卷七 寫本 和菊倍判 七卷五册  
第一册ノミ朱書入アリ、明治三十五年ヨリ石川定由書入ノ旨朱書アリ。  
白河樂翁ノ『白河』『桑名』『樂亭文庫』ノ印アリ。  
平假名交リノ寫本。
- 三八 日本書紀 卷四、六、八、十七、十八、二十一、二十六、三十 寫本 和菊倍判 八册  
『中村文庫』印 (近世初期寫)
- 三九 古鈔本日本書紀 卷第一零本 寫本 和四六倍大判  
『下總崎房秋葉場孫兵衛藏書』印  
(奥書)  
於河内國譽田八幡宮東一院東房屋寫之 石穗山今佛頂山太子勝鬘經講  
三時ヨリ橘寺ニアリ  
定円
- 四〇 假名日本紀 卷一至三 明治八年 和四六倍判 三卷三册 岐阜縣 東崖堂
- 四一 日本書紀 伴信友校訂 明治十六年 和四六倍 六册 大阪 赤志忠七
- 四二 校定日本書紀 岸本宗道 大宮宗司校訂 明治二十五年 和菊本 三册 東京 東京堂
- 四三 日本書紀 (國史大系第一卷) 明治三十年 四六判 一册 東京 經濟雜誌社
- 四四 日本書紀 (六國史第一、二卷) 佐伯有義編 昭和三年 菊判 二册 大阪 朝日新聞社
- 四五 日本紀略 (新訂國史大系第十、十一卷) 黑板勝美編 昭和四年 菊判 二册 東京 國史大系刊行會
- 四六 日本書紀 (原文) (日本古典全集第三十三、四十二卷) 正宗敦夫編 昭和五年 三五判 二册 東京 日本古典全集刊行會
- 四七 日本書紀 (訓讀) (日本古典全集第四十七、四十九卷) 正宗敦夫編 昭和八年 三五判 二册 東京 日本古典全集刊行會
- 四八 日本書紀 (訓讀) (日本古典全集ノ内) 正宗敦夫編校 昭和八年 四六判 一册 東京 日本古典全集刊行會
- 四九 日本書紀 いてふ本 三教書院編輯部編 昭和十一年 和四六判 三册 東京 編者
- 五〇 Japanese Mythologie "Nihongi" Karl Florenz 著 1901, 1903. 一册 Tokyo Hobunsha フローレンツ 日本書紀獨譯 (東亞民族學界紀要)
- (解意書)
- 五一 首書 日本書紀神代合解 清原國賢編 寛文四年 和四六倍判 六册 村田勝五郎
- 五二 神代口訣 忌部正通著 寛文四年 和四六倍大判 五册 京都 武村市兵衛
- 五三 神代卷口訣抄 寫本 和菊大判 一册  
(奥書)
- 五四 日本紀神代抄 清原宣賢著 寛文九年 和四六倍判 六册 武村市兵衛 常等
- 五五 神武紀集解 龍熙近著 (延寶二年序) 和四六倍大判 二册
- 五六 日本書紀神代私説 白井宗因著 (延寶二年序) 和四六倍判 八册
- 五七 神代卷藻鹽草 玉木正英著 (元文四年序) 和四六倍判 六册 京都 合書樓
- 五八 日本書紀通證 谷川士清著 寶曆十二年 和四六倍大判 二十三册 京都 出雲寺文治郎等

- 五九 書紀補解 内藤源中寫 天明四年 和四六倍大判 七册
- 『百瀬氏藏書』印
- 六〇 書紀集解 河村秀根著 河村殷根、河村益根訂〔天明五年序〕 和四六倍判 二十册 愛知縣 矢田藤兵衛等
- 『時習堂圖書章』印アリ。
- 六一 書紀集解 河村秀根 昭和十二、十三年 菊判 三册 東京 國民精神文化研究所
- 六二 書紀百氏補傳 榮名井廣總著〔天明八年序〕 和四六倍判 五册
- 六三 神代紀鬚華山陰 本居宣長著〔鈴乃屋藏板〕 寛政十二年 和四六倍大判 一册
- 六四 神代紀鬚華山陰 本居宣長著 和四六倍判 一册 京都 丁字屋榮助
- 六五 神代清地傳 榮名井廣總著 享和二年 和四六判 五册 京都 神先宗八
- 六六 神代紀葦牙 栗田土滿著 文化八年 和四六倍判 三册 京都 河南儀兵衛等
- 六七 神代卷鹽土傳 谷重遠著 和四六倍大判 四册 京都 茨城多左衛門
- 六八 神代卷講述鈔 出口延佳著 和四六倍判 五册 山本廣足編〔寛文十二年冬ノ序アリ〕
- 六九 日本書紀纂疏 一条兼良著 和菊倍判 八册
- 七〇 日本書紀纂疏 一条兼良著 古寫本 和四六倍大判 二册
- 七一 日本書紀纂疏（卷第六缺） 一条兼良著 新坊法印定盛寫 寛永十二年 和菊倍判 五册
- 七二 日本書紀纂疏 一条兼良著 國民精神文化研究所編 昭和十年 菊判 一册 東京 編者
- 七三 日本書紀神代之系圖 寫本 和四六倍大判 一册
- 『英王堂藏書』印アリ
- 七四 日本書紀卷第一私鈔 寫本 和四六倍判 一册〔安政四年跋〕
- 七五 日本書紀東家祕傳 北畠親房著 寫本 和四六倍大判 一册
- 七六 神代卷祕傳 寫本 和四六倍大判 一册
- 七七 神代卷聞書 寫本 和四六倍判 四册
- （第一册内題）
- 寛政十二〇壬四月三日開講 神代聞書 吉岡頼母
- （第二册内題）
- 文化三丙寅二月廿五日ヨリ廿九日迄
- 神代卷聞書 八洲起源 幸道
- （第三册内題）
- 四神出生六一書滌身ノ段 幸道
- （第四册内題）
- 文化三丙寅二月 神代卷聞書 開始之段 幸道
- （第四册内題）
- 養老四歳ヨリ文化三迄千八拾七成年 日本書紀上下八二萬四字ヲ以テ御アミ立被成夕也 日本書紀上卷ノ古ヨリ焉字迄六拾五字同下卷天照ヨリ焉字迄五拾六字 是上卷ノ字數以日本書紀三拾卷貫之
- 神代卷 神道和語解 寫本 和四六倍判 一册
- 和語註 神道和語解 寫本 和四六倍判 一册
- （奥書）
- 暢月四日書始也 天の所 山口氏 什物
- 神代混沌草 跡部良顯著 寫本 和四六倍大判 五册
- 「享保五年庚子季秋良辰
- 重垣翁友部安崇」ノ序アリ
- 神代和解 鴨祐之著 寫本 和四六倍大判 五册
- 神代卷愚案抄 寫本 和菊判 八卷 四册
- （卷末記）
- 干時天明六丙午歲霜月中浣日 長山左内藤原助實謹書
- 神代卷抄 寫本 和菊判 二册
- 八二 日本書紀常世長鳴鳥 鴨茂規清草稿 寫本 和四六倍判 一册
- 八三 神代卷師說聞書 上下 寫本 和四六倍判 二册
- 八四 （上卷内題）『明和七寅五月十五日開講同六月初三日滿解 神代〇運聞書

乾 古志原神官愛道

(下卷内題) 『明和六<sup>マ</sup>五<sup>メ</sup>月下旬 神代卷坤 古志原神官 藤原愛道』

(同卷末記) 明和六己三月廿三日初同歳八月十日相満 永岡<sup>ノ</sup>生歳七十  
四予三十三歳

八五 神代卷第二<sup>ニ</sup>聞書 (神代卷下聞書) 和四六倍判 一册

(卷末記)

干時明和六歳巳七月八撰尾 雲陽意宇郡古志原邑山代神社神主吉岡但馬  
神 藤原愛道 (花押)

八六 神代卷志豆之諸環 五十鈴宮上下 度會宮上 寫本 荻野神主光陶撰 和四  
俗談 六倍判 三卷二册

八七 神代卷靈運秘書 開闢<sup>ニ</sup>起源章 寫本 和菊判 一册  
造化神出生章

八八 秘神代卷解 寫本 天保十一年 和菊判 二册  
(奥書)

右神代上下篇桂齊源秀樹翁口傳安永三申午稔自春至冬秘之勿許敢テ他  
視云〇天保十一年子十月念三日ヨリ十一月念一日ニ寫シ終ル

八九 神代卷三重五鱸翁口授 玉木葦齋著 寫本 和四六倍大判 一册

九〇 神代卷日蔭草 岡田正利著 藤原信良寫 明和五年 和四六倍判 一册

九一 神代三書聞書 寫本 和四六倍判 二册  
(奥寫記)

安永六丁酉年三月四日 杉立正文 謹寫

九二 日本書紀 寫本 和四六倍判 一册  
神代卷下  
神武紀

九三 書紀聞書 寫本 和菊判 二册  
(卷末記)

九四 惟時文化十四丁巳初夏 楓井致知 謹書  
神代卷師說 第二卷 混成翁口授 出雲孝豫寫 玩鷗齋校 和菊判 一册

九五 神代卷潮翁語類 寫本 和菊判 一册

九六 神代卷菅根 寫本 和菊判 十五册 (第一卷缺)

九七 神代卷口解 寫本 和四六倍大判 四册

九八 稜威道別 橘守部自筆 八册 (甲ノ六ニアリ)

九九 稜威道別 橘守部自筆稿本 神代上 一册 (甲ノ六ニアリ)

一〇〇 神代卷古今顯要鈔 橘守部自筆 墨付八枚 一册 (甲ノ十四ニアリ)

一〇一 日本書紀集說 寫本 平高潔編 和四六倍判 七册

一〇二 日本書紀無目籠 寫本 和菊判 七册

一〇三 日本書紀類聚解 内山真龍自筆 和菊判 五册

日本書紀ヲ地名詞章等分類別ニ纏メ解釋ヲ施セルモノ

傳内山真龍自筆稿本

一〇四 神代紀索引 橘守部自稿本 一册 (甲ノ十一ニアリ)

一〇五 神代紀心覺 橘守部自筆 一册 (甲ノ十七ニアリ)

一〇六 日本書紀選定之事 上田百樹自筆 寫本 和四六倍判 一册  
(卷末記)

此書ハ荒木田久老主ヨリカリエテウツシツ 享和二年正月九日 上田百

樹

一〇七 神代卷根國史 賀茂規清著 明治二十一年 和菊判 二册 東京 北川良  
忠

「大徳氏藏印アリ」

一〇八 日本書紀解 平宣夫自筆草稿 和四六倍判 十册  
(卷末記)

明治七年甲戌三月三十一日 平宣夫 (花押)

一〇九 田中頼康校訂校正日本紀・神代卷 明治十四年二版 和四六倍判 二册 東京 校  
訂者

一一〇 日本紀講義神代卷 三崎民樹等著 明治三十九年二版 四六判 一册 東  
京 水穂會

一一一 日本書紀傳 鈴木重胤著 秋野康彦校訂 皇典講究所國學院大學出版部編  
明治四十三、四年 菊判 七册 東京 編者

一二二 日本書紀傳 (鈴木重胤全集第一―七卷) 鈴木重胤著 樹下快淳編 昭和  
十二―十四年 菊判 七册 東京 鈴木重胤先生學徳顯揚會

- 一一三 假名の日本書紀 植松安著 大正九年 四六判 二冊 東京 大同館
- 一一四 新譯日本書紀 飯田弟治譯 松本愛重校閲 大正元年 菊判 一冊 東京 高山房

- 一一五 日本書紀講義神代卷 田邊勝哉著 昭和七年 菊判 一冊 東京 帝國神祇學會

- 一一六 標神代記讀本<sup>(2)</sup> 高山昇編 明治四十四年 四六判 一冊 東京 誠之堂

- 一一七 新譯日本書紀 飯田弟治譯 松本愛重校閲 大正十年 菊判 一冊 東京 言誠社

- 一一八 書紀に見えてゐる『之』字について（臺北帝國大學文政學部文政學科研究年報第一輯） 福田良輔著 昭和九年 菊判 一冊 臺北 臺北帝國大學文政學部

- 一一九 日本書紀（新日本文學叢書第二輯第一卷ノ内） 昭和二年 菊判 一冊 東京 日本文學叢書刊行會

- 一二〇 神代卷風葉集（大日本文庫第五冊） 山崎闇齋著 大日本文庫刊行會編 昭和十年 四六判 一冊 東京 編者

- 一二一 日本書紀講話 加藤玄智著 昭和十年 四六判 一冊 東京 章華社
- 一二二 日本書紀通釋 飯田武郷著 昭和十一年版 菊版 六冊 東京 内外書籍株式会社

- 一二三 日本書紀新講 飯田季治著 昭和十一年—十三年 菊版 三冊 東京 明文社

- 一二四 日本書紀概説 田中義能著 昭和十三年 菊判 一冊 東京 日本學述研究會

- 一二五 ママ 日本書紀と日本精神（日本文化第四十冊） 武田祐吉著 昭和十四年 四六判 一冊 東京 日本文化協會

一、古事記の部（筆者注…この項目は省略する）

一、記紀の部（筆者注…この項目は省略する）

一、複製本の部  
（筆者注…この項目では『日本書紀』関係の書籍のみ抜粋掲載する）

- 三二〇 日本書紀 千二百年記念展覧會目録 大正八年五月十日 於東京 菊判 一冊

- 三一〇 撰進千二百年記念 日本書紀古本集影 日本書紀撰進千二百年記念會編 大正九年 和四六倍判 一冊

- 三二二 日本書紀<sup>神代上下</sup> 慶長勅版 昭和三年 和四六倍大判 一冊 東京 酒井宇吉

- 三二三 日本書紀（丹鶴叢書） 和四六倍判 二冊 京都 出雲寺文次郎等
- 三二四 日本書紀（丹鶴叢書） 國書刊行會編 明治四十五年 菊判 一冊 東京 編者

- 三二五 日本書紀 卷第一、二（丹鶴叢書） 大正三年 和四六倍判 二冊 東京 民友社

- 三二六 秘籍 大觀 日本書紀（卷之部） 七卷  
（古寫本日本書紀解）

- 卷第十應神天皇紀 田中教忠藏本 一卷
- 卷第二十二推古天皇紀 岩崎文庫藏本 一卷
- 卷第十一仁德天皇紀 前田侯爵藏本 一卷
- 卷第二十四皇極天皇紀 岩崎文庫藏本 一卷
- 卷第十四雄略天皇紀 前田侯爵藏本 一卷
- 卷第十七繼體天皇紀 同 一卷
- 卷第二十敏達天皇紀 同 一卷

- 三二七 秘籍 大觀 日本書紀（帖之部） 菊倍判 九帖

- 古寫本日本書紀解題 一冊
- 卷第一神代卷上殘缺 佐々木信綱本 一帖
- 卷第二神代卷上下 宮内省圖書寮藏本 一帖
- 卷第十應神天皇紀 同 一帖

- 卷第十二履中天皇紀 反正天皇紀  
 卷第十三允泰天皇紀 安康天皇紀 同一帖  
 卷第十四隱略天皇紀 同一帖  
 卷第十五清寧天皇紀 顯宗天皇紀 仁德天皇紀  
 卷第十六武烈天皇紀 同一帖  
 卷第十七繼體天皇紀 同一帖  
 卷第二十一用明天皇紀 崇峻天皇紀  
 卷第二十二推古天皇紀 同一帖  
 卷第二十三舒明天皇紀 同一帖  
 卷第二十四皇極天皇紀 同一帖  
 三四 日本書紀私見聞 春瑜本 昭和十三年 和四六倍判 二册 東京 古典保存會

追加之部

(筆者注…この項目では『日本書紀』関係の書籍のみ抜粋掲載する)

- 三三五 日本書紀神代卷 寫本 和四六倍判 一册  
 三三六 釋日本紀 卜部懷賢著 和四六倍判 二十八卷十五册  
 三三七 豊秋津洲傳 豊幡雲合完 藤原保之著 柳條亭 寫 文化十二年 和四六倍判 八册  
 三三八 日本書紀精粹 (日本思想叢書第九編) 文部省社會教育局編 昭和九年二版 一册 東京 社會教育會  
 三三九 我國上代に於ける氏族統合の問題―日本書紀を中心とする文献的研究―(日本諸學研究一) 森田誠一著 昭和十四年菊判 一册 東京 日本文化中央聯盟  
 三三〇 書紀編纂者の思想に就いて―使用語句による原典批判的研究―(日本諸學研究二) 木村俊夫著 昭和十四年 菊判 一册 東京 日本文化中央聯盟  
 三三一 日本書紀の編纂に就いて(日本諸學研究三) 鴻巢隼雄著 昭和十四年

菊判 一册 東京 日本文化中央聯盟

三四一 神武紀解 享保二十年 寫 一册 九十二枚

(奥書)

右神武紀解一卷 五蟠潮翁之所 編纂也乞借于高橋氏而書寫畢

享保乙卯季夏 奚疑齋

卷首二一枚ノ地圖ヲ入レ『奚疑齋』印有。

注

(1) 田中千品「天理図書館『開館九周年記念 古事記・日本書紀展覧会目録』紹介」(『甲南女子大学研究紀要 文学・文化編』第四十六号 二〇一〇年三月)

(2) 『標神代記讀本』は「はしがき」によると「古事記の上巻と、日本書紀の一二巻との神代記を合せて為」したものである。